

# 株式会社みずほフィナンシャルグループ

契約の種類： アニュアルレビュー

日付： 2021年9月10日

担当者：

Kosuke Kanematsu, kosuke.kanematsu@sustainalytics.com, (+81) 3 4571 2343

Marie Toyama, marie.toyama@sustainalytics.com, (+81) 3 4571 2343

## はじめに

2020年10月、株式会社みずほフィナンシャルグループ株式会社（以下、「みずほFG」）は再生可能エネルギー、クリーン輸送、汚染の防止と管理、及びグリーンビルディングに関連するプロジェクトへのファイナンス又はリファイナンスを目的とするグリーンボンド（以下、「グリーンボンド」）を発行し、その調達資金を再生可能エネルギー、及びグリーンビルディングに係るプロジェクトに充当しました。2021年8月、みずほFGはサステナビリティクスにグリーンボンドを通して資金の充当を受けたプロジェクトが株式会社みずほフィナンシャルグループグリーンボンドフレームワーク（以下、「フレームワーク」）<sup>1</sup>で設定された資金使途のクライテリアやレポートの指標に合致しているかについて評価を委託しました。

## 評価基準

サステナビリティクスは、以下の要件について、2021年3月31日時点で調達資金の充当を受けたプロジェクトを評価しました。

1. フレームワークで設定された調達資金の使途及び適格クライテリアとの適合
2. フレームワークで設定された各資金使途クライテリアに対する主要業績評価指標（KPI）に関する報告

表1に調達資金の使途、適格クライテリア及び関連するKPIを示します。

表1：調達資金の使途、適格クライテリア及び主要業績評価指標（KPI）

調達資金の使途	適格クライテリア	主要業績評価指標（KPI）
再生可能エネルギー	風力、太陽光、太陽熱、バイオマス（持続可能な原料または廃棄物に限る）、地熱（CO <sub>2</sub> 直接排出量が100gCO <sub>2</sub> /kWh未満のプロジェクトに限る）、発電量が25メガワット以下の小規模水力（調整池のない流れ込み式水力を含む）の再生可能エネルギーの発電施設の開発、建設、運営に関する事業。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• CO<sub>2</sub>排出の削減相当量（トン単位）</li> </ul>
グリーンビルディング	<p>グリーンボンド償還までに、以下の認証の少なくとも一つを取得済みまたは取得する予定の建築物。グリーンボンドで調達された資金は、J-REIT（日本の不動産投資法人）が保有する物件を含め、下記の認証を取得した適格グリーンビルディングへのみずほ銀行による新規・既存の融資に充当されます。J-REIT保有の適格グリーンビルディングへの充当額は、適格グリーンビルディングの取得価格の按分比例に基づき計算される場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ LEED（エネルギーと環境デザインにおけるリーダーシップ）： Platinum または Gold</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• グリーンビルディングの認証数と認証レベル</li> </ul>

<sup>1</sup> 株式会社みずほフィナンシャルグループグリーンボンドフレームワークの概要: <https://www.sustainalytics.com/corporate-solutions/sustainable-finance-and-lending/published-projects/project/mizuho-financial-group/mizuho-financial-group-inc-green-bond-second-party-opinion-japanese/mizuho-financial-group-inc-green-bond-second-party-opinion-japanese-pdf>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ BREEAM（英国建築研究所建築物性能評価制度）： Outstanding または Excellent</li> <li>○ CASBEE 不動産評価認証（建築環境総合性能評価システム）： S ランクまたは A ランク</li> <li>○ DBJ Green Building 認証： 5 つ星または 4 つ星</li> <li>○ BELS（建築物省エネルギー性能表示制度）： 5 つ星または 4 つ星</li> </ul>	
--	---	--

## 発行体の責任

みずほ FG は、プロジェクトの説明、充当額、プロジェクトによるインパクトを含め、調達資金の充当を受けたプロジェクトの詳細に関する正確な情報及び文書を提供する責任を負います。

## 独立性と品質管理

投資家に環境・社会・ガバナンス（ESG）とコーポレート・ガバナンスに関する調査・格付けを提供するプロバイダとして業界をけん引するサステナリティクスは、みずほ FG のグリーンボンドによる調達資金の用途を検証しました。本契約の一環として、同社のフレームワークとの適合性の確認のため、みずほ FG の従業員からの文書の収集及び確認を行いました。

サステナリティクスは、調査にあたって、対象プロジェクトに関してみずほ FG から提示された情報と事実とに依拠しています。みずほ FG が不正確又は不完全なデータを提供したことにより、本文書で示した見解、調査結果、結論が正確性を欠く場合、サステナリティクスはいかなる責任も負いません。

サステナリティクスは、評価プロセスにおいて最高の品質と厳密さを確保するためにあらゆる努力をし、審査結果の評価にあたっては社内のサステナビリティ・ボンド・レビュー委員会（Sustainability Bonds Review Committee）が監督を行いました。

## 結論

限定的保証プロセスに基づき検討した結果<sup>2</sup>、すべての重要な側面において、みずほ FG のグリーンボンドによる調達資金の充当を受けたプロジェクトが、フレームワークで規定された調達資金の用途及びレポーティングクライテリアに適合しないと判断すべき事実は認められませんでした。みずほ FG は、サステナリティクスに対し、グリーンボンドの調達資金が 2021 年 3 月 31 日時点で全額充当されたことを開示しました。

<sup>2</sup> サステナリティクスの限定保証プロセスには、発行体の提供する、調達資金の充当を受けているプロジェクトの詳細に関する文書（プロジェクトの説明、充当額、プロジェクトによるインパクトなど）の調査が含まれます。発行体には正確な情報を提供する責任があります。サステナリティクスはプロジェクトの現地調査は実施していません。

## 調査結果の詳細

表 2：調査結果の詳細

適格クライテリア	調査手順	調査結果	特定された過失または例外
資金使途クライテリア	2021年3月31日時点でグリーンボンドによる調達資金を充当されたプロジェクトを対象に、フレームワーク及び上の表1に示されている資金使途クライテリアとの適合性を検証。	審査したすべてのプロジェクトは資金使途クライテリアに適合していました。	該当なし
レポーティングクライテリア	2021年3月31日時点でグリーンボンドによる調達資金を充当されたプロジェクトを対象に、プロジェクトによるインパクトがフレームワーク及び上の表1に示されているKPIと適合する形で報告されたかを検証。報告されたKPIの一覧は参考資料2を参照。	審査したすべてのプロジェクトは関連するKPIについてレポーティングクライテリアに従って報告されていました。	該当なし

## 参考資料

### 参考資料 1：審査対象のプロジェクトカテゴリー一覧

#### 1. 再生可能エネルギー

調達資金の用途のカテゴリー	サブカテゴリー	プロジェクト数	エクエーター原則カテゴリー	融資貸付日	燃料源	調達資金の充当額 (ユーロ換算額：百万)
再生可能エネルギー	太陽光	2	カテゴリー B：2 プロジェクト	全てグリーンボンドの発行日から遡って24カ月以内、または発行日以降に貸付された融資であることを確認	該当なし	89
再生可能エネルギー	風力	3	カテゴリー B：3 プロジェクト	全てグリーンボンドの発行日から遡って24カ月以内、または発行日以降に貸付された融資であることを確認	該当なし	197
再生可能エネルギー	バイオマス	1	カテゴリー B：1 プロジェクト	グリーンボンドの発行日以降に貸付された融資であることを確認	持続可能な原料に限定されていることを確認	113
<b>合計：</b>						399

## 2. グリーンビルディング<sup>3</sup>

調達資金の 用途のカテ ゴリー	物件数	グリーンビルディング認証の種類 <sup>4</sup>		融資貸付日	調達資金の 充当額 <sup>5</sup> (ユーロ 換算額： 百万)
		CASBEE 不動産 評価認証	BELS		
グリーンビ ルディング	33 <sup>6</sup>	S ランク： 21 物件  A ランク： 10 物件	5 つ星： 4 物件  4 つ星： 5 物件	全てグリーンボンド の発行日から遡って 24 カ月以内、また は発行日以降に貸付 された融資であるこ とを確認	101
合計：					101

## 参考資料 2：プロジェクトのインパクト一覧

### 1. 再生可能エネルギー

調達資金の用途 のカテゴリー	サブ カテゴリー	プロジェ クト数	年間発電量 (MWh)	CO <sub>2</sub> 排出の削減相当量 (みずほ FG 寄与分) <sup>7</sup> (t-CO <sub>2</sub> /年)
再生可能 エネルギー	太陽光	2	1,752,731	72,108
再生可能 エネルギー	風力	3	6,663,846	219,632
再生可能 エネルギー	バイオマス	1	761,881	158,277
合計：			9,178,458	450,017

<sup>3</sup> 当該カテゴリーにおいて、みずほ FG は J-REIT（日本の不動産投資法人）1 法人への融資を通じて、同 REIT が保有する適格グリーンビルディングに調達資金を充当しました。

<sup>4</sup> 7 物件は、CASBEE 不動産評価認証と BELS の両方を取得している為、ダブルカウントされています。

<sup>5</sup> J-REIT 保有の適格グリーンビルディングへの充当額は、適格グリーンビルディングの取得価格の按分比例に基づき計算されています。

<sup>6</sup> フレームワークの下で適格資産となる物流倉庫

<sup>7</sup> プロジェクトの CO<sub>2</sub> 排出削減相当量に、総プロジェクトコストに対する株式会社みずほ銀行の融資残高割合（みずほ帰属係数）を乗じて算出しています。みずほ帰属係数については、PCAF ガイダンスに沿って活用しています。

## 2. グリーンビルディング

調達資金の 用途のカテ ゴリー	物件数	グリーンビルディングの認証数と認証レベル		
		CASBEE 不動産評価 認証	BELS	CASBEE 不動産評価 認証 及び BELS
グリーンビ ルディング	33	S ランク: 14 物件 A ランク: 10 物件	4 つ星: 2 物件	S ランク及び 5 つ星: 4 物件 S ランク及び 4 つ星: 3 物件

## 免責事項

© Sustainalytics 2021 無断複写・複製・転載を禁ず

本書に包含又は反映されている情報、手法及び意見は、サステイナリティクス及び／又はその第三者供給者の所有物（以下、「第三者データ」）であり、サステイナリティクスが開示した形式及びフォーマットによる場合又は適切な引用及び表示が確保される場合のみ第三者へ提供されます。これらは、情報提供のみを目的として提供されており、（1）製品又はプロジェクトの保証となるものではなく、（2）投資助言、財務助言又は目論見書となるものではなく、（3）有価証券の売買、プロジェクトの選択又は何らかの種類の商取引の実施の提案又は表示と解釈してはならず、（4）発行体の財務業績、金融債務又は信用力の評価を表明するものではなく、（5）いかなる募集開示にも組み込まれておらず、組み込んではありません。

これらは、発行体から提供された情報に基づいたものですので、これらの商品性、完全性、正確性、最新性又は特定目的適合性は保証されていません。情報及びデータは、現状有姿にて提供されており、それらの作成及び公表日時時点のサステイナリティクスの意見を反映しています。サステイナリティクスは、法律に明示的に要求されている場合を除き、いかなる方法であっても、本書に含まれた情報、データ又は意見の使用に起因する損害について一切責任を負いません。第三者の名称又は第三者データへの言及は、かかる第三者に所有権があることを適切に表示するためのものであり、その後援又は推奨を意味するものではありません。当社の第三者データ提供者のリスト及びこれら各者の利用規約は、当社のウェブサイトに掲載されています。詳しくは、<http://www.sustainalytics.com/legal-disclaimers> をご参照ください。

発行体は、自らが確約した内容の確実な遵守とその証明、履行及び監視について全責任を負います。

英語版と翻訳版との間に矛盾もしくは不一致が生じた場合は英語版が優先されるものとします。

## サステイナリティクス（モーニングスター・カンパニー）

サステイナリティクスは、モーニングスター・カンパニーであり、環境・社会・ガバナンス（ESG）とコーポレート・ガバナンスに関する調査、評価及び分析を行う独立系機関であり、責任投資（RI）戦略の策定と実施について世界中の投資家をサポートしています。ESG 及びコーポレート・ガバナンスに関する情報及び評価を投資プロセスに組み込んでいる、数百に及ぶ世界の主要な資産運用会社や年金基金を支援しています。また、多国籍企業や金融機関、各国政府を含む世界の主要な発行体に、グリーンボンド、ソーシャルボンド、サステナビリティボンドのフレームワークに対する信頼性の高いセカンドパーティ・オピニオンを提供しています。2020 年には、Climate Bonds Initiative により、3 年連続で「気候ボンドのレビューにおける最大の認証機関」に選ばれたほか、Environmental Finance 誌により、2 年連続で「最大の外部レビュー機関」に認定されました。詳しくは、[www.sustainalytics.com](http://www.sustainalytics.com) をご参照ください。



**GlobalCapital**  
SRI Awards

Named

2015: Best SRI or Green Bond Research or Rating Firm  
2017, 2018, 2019: Most Impressive Second Opinion Provider

